

ASET21 第37回議事録

平成25年7月19日

日時 平成25年7月19日

場所 大阪市立大学文化交流センター 小会議室

参加者 川満(日建設計シビル), 佐藤(JIP テクノサイエンス), 園田(大阪市立大学名誉教授), 田村(国際建設技術研究所), 辻村(国際建設技術研究所), 角掛(大阪市立大学), 麓(近畿大学), 真鍋(国際建設技術研究所), 三浦(横河ブリッジ), 安岡(髙川土木コンサルタンツ), 大学院生(6名),

以上16名・50音順・敬称略

資料

- 1) 第36回ASET21議事録
- 2) 耐震検討に関する話題(ストレステスト・余震の影響)(川満)
- 3) RCフレーム構造への湾曲状ダンパー適用に関する研究(山口)
- 4) 新しい機構のX線CTの開発とボリマーコンクリートの圧縮試験への適用(麓)

議事

1. 記録確認[資料] 議事録の確認を行った。
2. 研究報告

1)川満

耐震検討に関する話題として、ストレステストと余震の影響に関する報告がなされた。現行の設計法では、設定荷重以上の荷重が構造物に作用した時、構造物の挙動が不明である。そのため想定以上の荷重を考慮するストレステストのような設計法が必要であることが示された。余震の影響については、東北地方太平洋沖地震のような大規模地震では余震でも大規模のものが多く、余震の影響も考慮した設計の必要性について示された。一例として、経験的グリーン関数を用いた余震の設定法について挙げられた。

2)山口

大阪市立大学で開発された湾曲状鋼製ダンパーに関する研究の報告が行われた。ラーメン高架橋を対象として、骨組み要素で解析を行った結果と平面応力要素等で解析を行った結果をそれぞれ報告した。その際、静的及び動的解析を行うことで、それぞれの解析ソフトで得られた結果の違いや、ダンパーを設置した際の効果について考察を行い、進捗状況の報告を行った。

3)麓

X線CTを使用し、非接触で3次元的に材料内部の構造を把握する研究に関する報告がなされた。荷重を加えながらX線CTを行うことのできる試験機を開発することで、圧縮試験時の材料の破壊挙動を観察することができるという結果を示された。

4)真鍋

fb シンボジュウム 2013 テルアビブの参加報告がなされた。また、シンボジュウム参加後、イスラエルの視察が行われ、ユダヤ教の歴史やマサダ、エルサレム、パレスチナ自治区等の現状報告がなされた。

3. 次回の予定

日時 平成25年9月20日(金)

場所 大阪市立大学文化交流センター

話題提供予定

1. 高い耐久性と耐震性を併せ持つRC橋脚「HiDuc橋脚」 斉藤様
2. 地下街の耐震診断と耐震補強 川満
3. 高強度繊維補強モルタルの曲げ疲労特性 仙波
4. Japan Steel Bridge Competition の報告 久保

文責 畝 北川 久保 仙波 山口